



杉森だより

令和2年4月30日
調布市立杉森小学校
校長 清水 吏

<http://www.chofu-schools.jp/sugimori-sho/>



sugimori-sho@chofu-schools.jp

不便が育てる思いやり

副校長 八代 史子

この春、杉森小学校へ着任し、調布駅南口からのバス通勤が始まりました。バス停を降り、品川道から学校へ向かう道を歩いています。そこはすれ違うのもやっとの狭い歩道です。歩道内に電柱が立っている場所もいくつかあり、そこを通るたびに小さなストレスを感じていました。

毎日通る中で気づいたことがあります。電柱のある場所をすれ違う時、自然と譲り合い、譲られた人は会釈している方が多いのです。それは老若男女問わずです。「譲り合い」が、この地域の皆さんの日常に根付いているのだと感じました。

譲り合いは、相手の立場に立って考え行動する中で生まれる「思いやり」の一つの形です。地域に根付く思いやりが、どこから生まれるのか。その一因は、歩道の電柱が生む不便さにあるのではないのでしょうか。もしあの歩道に電柱がなく、すれ違いにも十分な幅があれば、譲り合いの必要はないでしょう。しかし「相手を思う」という気持ちを日常的に反復する小さな機会も、同時に失うのかもしれない。

他者へのストレスや苛立ちが簡単に増幅しやすい昨今、日々の中に思いやりをもつ機会のあるこの町で育つ子どもたちの、なんと幸せなことでしょう。本校の教育目標の筆頭には「思いやり 助け合う子ども」とあります。思いやりを受けることで、思いやりを返せる子どもを、地域の皆様とともに育ててまいりたいと思います。

今年度の特別支援教育コーディネーターは以下の5名です。

校内の特別支援教育に関して学校内外との連絡調整や保護者との窓口を務めます。
気になることは遠慮なくご相談ください。

黒岡祐恵 松尾千裕 北川絢子 秋田佑介 古野美佳